

家庭学習の手引き

小学生用



おおおかしょうがっこう

大岡小学校

ちゅうがっこう

中学校

かていがくしゅうきょうつうもくひょう

家庭学習共通目標

すす

まな

こ

進んで学ぶ子どもたち

しゅうかんか

しゅたいせい

じしゅせい

～習慣化・主体性・自主性～



おおおかしょうがっこう

大岡小学校

ちゅうがっこうがくりよくこうじょうぶ

ろしえくといいんかい

ながのしりつおおおかしょうがっこう

長野市立大岡小学校

ながのしりつおおおかしょうがっこう

長野市立大岡中学校

ながのしりつおおおかしょうがっこう

長野市立大岡中学校

すす まな こ めざ 「進んで学ぶ子どもたち」を目指して

かていがくしゅう まな ちから そだ ～家庭学習で「学ぶ力」を育てましょう～

がっこうでは、**あなた**が将来大人になったとき、一人で生きていくための**基礎学力**（さまざまな学
習の基礎となる知識や能力、読み・書き・計算など）や「**学ぶ力**」（「もっと調べてみたい」「な
ぜだろう」「どうなるのだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、知識を生かし、見通し
をもって考える力）を育てる努力をします。

あなたは家庭学習を毎日続けることで、下に書かれている事の他に、しっかりとした考え方
や集中力だけでなく、学習習慣が身につく、難しいと思うこと、困ったことなどに出合っ
ても、くじけないで積極的にチャレンジしようとする力がつきます。家庭学習の習慣を身に
付けることで、**あなた**の自分から進んで行動する力を伸ばし、人生楽しく、豊かに生活するた
めの大きな宝物となります。

あなたの将来は希望に満ちあふれています。どんな夢や希望も叶えられる無限の力を秘めてい
ます。学校での学習に加えて、家庭学習にも力を入れていきましょう。

かていがくしゅう しゅうかんか 家庭学習を習慣化するとよいこと

がくしゅうないよう
学習内容

とく かんじ けいさん こうか
(特に漢字・計算に効果があります。)

まなぶしゅうかん
学ぶ習慣

ていけん まいにちきめた じかん がくしゅう みずからまなぶしゅうかん み
(低学年から、毎日決めた時間に学習することで自ら学ぶ習慣が身につきます。)

けいぞく どりょく ちから
継続して努力する力

かんじ1ページ おんぶく10分 まいにち つくえ
(漢字1ページ・音読10分でも毎日きちんと机に向かい、)

すわってとりくむこと たいせつ
いすに座って取り組む事が大切です。)

じしん
やればできるという自信

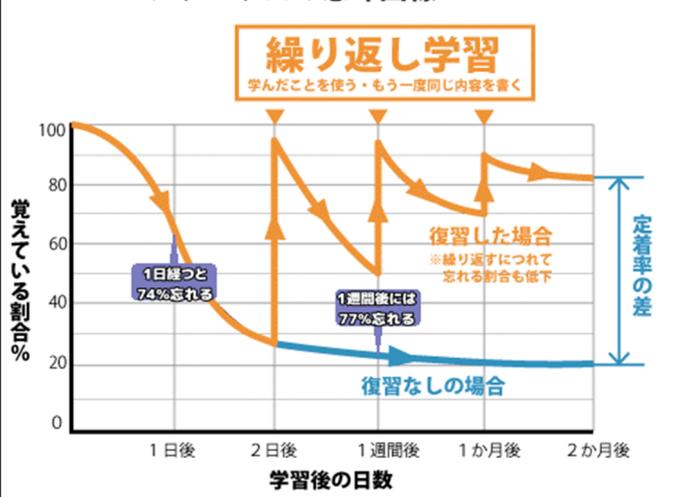
かていがくしゅう きほん しゅくだい がくしゅう ふくしゅう
(家庭学習の基本は宿題です。学習の復習を積み上げることで
たしか がくりよく み
確かな学力が身につく、やればできるという自信になります。)

かていがくしゅう ひつようせい ～家庭学習の必要性～

がっこうでがくしゅうしたことをかていでふくしゅうするこ
とにより、習熟・定着を図ることができます。

「エビングハウスの忘却曲線」による
と、学習したことを復習しないと、覚えた
ことの74%を次の日には忘れてしまうそ
うです。人間は、忘れることで新しいこと
を覚えていくのですが、学習では困ってし
まいます。学校で学習したことを家庭で復
習を行い、繰り返し学習することで、理解
が深まり、定着率が上がります。

エビングハウスの忘却曲線 (脳の忘れるしくみ) より



～家庭で『机に向かう習慣』を～

あなたは、学校で時間になれば机に向かって椅子に座り、各教科の学習が始まります。それは**あなた**が小学校1年生の頃から積み重ねてきた習慣で、当たり前になっていることです。家庭学習でも「机に向かう習慣」が必要です。獲得した「机に向かう習慣」が、後々の学習に大きな影響を与えます。中学一年生までに最低でも毎日一時間、机に向かい、椅子に座り、学習する習慣を身に付けておくことが必要不可欠です。どうしても勉強に飽きてしまう時は教科書を読むなどの学習でもかまいません。必ず毎日机に向かいましょう。

◎規則正しい生活をします！

- 早寝・早起きの習慣をつけます！
- 朝ごはんを毎日食べます！
- 家族との対話を大切にします！
- 学校に持っていくものは前日に確かめます！
- 宿題など自分から進んで勉強します！



◎学習の環境を整えます！

- 机の上を整理整頓します！
- 学習するときは、テレビを消し、ゲームや漫画は見えないところに片づけます！
- 「おやつを食べながら」「テレビを見ながら」など、「ながら勉強」はやめます！



◎学習のルールを決めます！

- 家庭学習を始める時間を決めます！
- 学習する場所を決めます！
- 毎日、学校からの連絡やプリントなどを確認します！
- 帰宅後、まず宿題をします！
- ノートの文字は、丁寧に書きます！
- テレビやゲームの時間を決めます！
- 本を読む時間をつくります！
- 家族の一員として毎日継続できる家の仕事をやります！
食事の手伝い・食器運び・洗濯物の片付け・お風呂掃除・トイレ掃除など、
自分にできる家庭の仕事を見つけ、積極的に取り組みます。
「働かざる者食うべからず！」家でもしっかり働きます！



～よいよい家庭生活・家庭学習を目指して～

下記の項目について、定期的に各自できているかチェックしよう！

【学校のこと】



- 学校からのプリント（配布物）を親に見せています。
- 学校での学習内容や家庭学習の内容を親に伝えています。
- 学校での出来事や困っていることを親に話したり、相談したりしています。

【家庭学習のこと】



- 生活ノートに宿題や課題をていねいな字で記入し、帰宅後確認し、行います。
- 学習用具を点検し、不足や不備があれば、事前に準備をし、学習で困らないようにします。
- 宿題のほかの自主学習をします。
- 困ったことがあれば親に相談します。

【家庭での学習環境のこと】

- テレビを見ながら、音楽を聴きながら勉強しません。
- 生活リズムをつくり、決まった時間に机に向かいます。
- 机の上や身の回りの整理整頓をします。
- 正しい姿勢で学習します。



×家庭学習の効果が期待できない場所（例）



◎家庭学習の効果が期待できる場所（例）

～よいよい学校生活・学校での学習を自指して～

下記の項目について、定期的に各自できているかチェックしよう！

【家庭のこと】



□家庭学習で困ったことや分からない問題があれば、担任や教科担任に相談します。

【学校での学習】



- 毎時間、授業序盤に目標となる「学習問題」を意識し、目標をもって授業に取り組みます。
- 毎時間、授業序盤に自分なりの見通しとなる「学習課題」を理解し、集中して授業に取り組みます。
- 毎時間、授業終盤に振り返りを行い、今日の自分の学びを振り返り、家庭学習や今後の学習に活かせるようにします。

【学校での学習環境】

- 板書されたことは最低限ノートに書き、学習の歩みがわかるようにし、復習に活かせるノートをつくります。
- 休み時間に授業の準備を行い、授業開始前には着席をします。
- 私語・立ち歩きをせず、集中して授業に取り組みます。
- 机の上には授業に必要な物のみ出すようにしたり、引き出しやロッカーは整理整頓したりし、学習環境を整えます。

小学校の机上

小学校のロッカー

中学校の机上



学習の効果が期待できる机とできない机(例)

学習の効果が期待できるロッカーとできないロッカー(例)

しょうがっこう1・2ねんせい

がくしゅうじかんのめやす
20ふん～30ふん
しゅくだい20ふん～30ふん しゅがくしゅうもがんばる!

もくひょう きほんてき がくしゅうしゅうかん み
目標 ⇒ 基本的な学習習慣を身につけよう!

いっぱい
ほめて
もらおう!



いっぱい
たすけて
もらおう!



- 「はやね はやおき」「あさごはんもりもりたべる」「まいにちうちする」「いいしせいですわる」ができると、べんきょうもしっかりできるようになるよ!
- べんきょうをいっぱいやって「やったね」「よくできたね」「すごーい!」とたくさんほめてもらおう!
- べんきょうすることや、やるじかんは、おうちのひととそうだんしてやろう!たくさんたすけてもらおう!
- 「よむこと」「かくこと」「けいさん」など、ぜんぶのべんきょうにたいせつなことをまなびます。しっかりせんせいのしごとをきこう!
- ものをうごかしたり、からだをうごかしたりしながらべんきょうしよう!
- おなじことをなんどもやることで、ちからがつくべんきょうがたくさんあります。なんどもちょうせんしよう!

ポイント1 おうちでのせいかつのなかに、べんきょうを!

- べんきょうするときは、テレビやおんがくをけしたり、たのしいゲームをかたづけよう!
「べんきょうするときはべんきょうする」クセをつけよう!
- あなたがべんきょうをがんばっているとき、おうちのかたはおうえんしてくれます。べんきょうがおわったら、おうちのかたにべんきょうをみてもらいましょう!

ポイント2 かぞくのいちいん! おてつだいします!

- じぶんのできるしごとはたくさんあります! すすんでおてつだいをしましょう!
- ひとつのしごとをつづけておこないましょう! なれてきたら、おてつだいのしゅるいをふやしましょう! おうちのかたは、きつとよろこびます!

ポイント3 おうちのかたといっしょに!

- がっこうでもらったおたよりなどをおうちのかたと、いっしょによもう! おうちのかたもがっこうのようすがわかってうれしいよ! また、かいものやおでかけをいっしょにして、かぞくでふれあうじかんをつくろう! かぞくみんなでなかよし!

じしゅがくしゅうれい 自主学習例

| <p>一年生 二年生</p> <p>がくしゅうじかん 学習時間</p> <p>20~30分</p> | <p>こくご</p> <p>○かたかな ○漢字練習 ○視写(書き写し) ○音読 ○読書 ○言葉集め(しりとり・仲間集めなど) ○日記を書く</p> | <p>さんすう</p> <p>○計算カードを使って 計算練習(+・-・×) ○百マス計算 ○問題作り (式から文章問題を作る)</p> | <p>そのほか</p> <p>○不思議に思った事を 親子で調べる ○買い物 ○時間調べなどを 親子で一緒に行く ○今日の出来事を 伝え合う ○外で遊ぶなど、 運動する。</p> |
|---|---|---|--|
|---|---|---|--|



- 楽しくすらすら読めるように毎日練習しましょう。
- 句読点(、や。)に気をつけて、大きな声ではっきり読めるようにしましょう。
- ひらがなや漢字の書き順に気をつけて、ていねいにゆっくり書きましょう。
- 自分で本を読んだり、読み聞かせをしてもらったりしましょう。



- 楽しみながら計算に慣れるようにしましょう。
- 少しずつスピードを上げて練習しましょう。
- 正しい計算の順番が身につくように、ときには、計算の順番を唱えながら練習しましょう。
- まちがった問題は、かならずやり直しましょう。

そのほか



- 楽しかったことやうれしかったことを自分の言葉で、絵日記や日記に書きましょう。
- けんぱんハーモニカの練習をしましょう。
- お家の人といっしょに買い物に行きましょう。
- 時計を読みましょう。

小学校3・4年生

学習時間のめやす
40分～60分

宿題25分～40分 自主学习15分～20分

目標 ⇒ **自主的な学習習慣**を身につけよう！

自分の言いたい

ことを言い過ぎちゃう
こともある！



高学年・中学生に

つながる大切な
学習が増える！



- 自分でやろう！・やりたい！と思うことが増え、「やる気」や「がまん強さ」が育つ時です。
- 色々なことに興味がわき、行動範囲が広がります。
- みんなで行動することを好むとともに、言いたいことを言うようになったり、反抗が少しずつみられたりようになります。
- 社会や理科、総合的な学習の時間などの学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字をたくさん習います。(3・4年生とも200字程度)
- 算数では、四則計算(＋、－、×、÷)の基礎・基本を学ぶとともに、分数や小数など少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。
- リコーダーや毛筆など、教科の中で新しい学習が始まります。

Point 1 宿題以外の学習にも挑戦！ ～すすんで学ぶ習慣を～

- 宿題以外の自主的な学習(自主学习)に積極的に取り組み、家庭学習のレベルアップを図っていくとよいでしょう。
- そのためにも、身のまわりの自然や社会の出来事にも目が向くように働きかけましょう。
- 家事を分担し、進んで行うことも、大事な学習です。

Point 2 テレビやゲームは、時間を決めて！ ～自律心を～

- テレビやゲームに夢中になって、遊び時間が長くなりがちです。できるだけゲームはしない。
- はじめをつけることが、自律心や学習への集中力を育てることになります。決めたルールは必ず守ります。また、学習時間には、テレビを必ず消します。

Point 3 難しくなる勉強・・・困ったらおうちの方に相談！

- 「勉強が難しくなった。」という困りや苦手意識を持つことが増えます。何かあればおうちのかたに何でも相談しましょう！

自主学習例

| <p>三年生 四年生</p> <p>学習時間 30~50分</p> | <p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字練習 ○新出漢字で短文作り ○視写(書き写し) ○ローマ字練習 ○部首調べ ○同部首の漢字集め ○意味調べ(国語辞典) ○作文・日記 ○読書 | <p>算数</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計算練習 (教科書・計算ドリルを繰り返し行う) ○問題作り (式から文章問題を作る) ○百マス計算 ○図形作り (コンパス・三角定規を使って) ○箱作り (立方体・直方体) ○お菓子の箱集め・分解 | <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地図を見て地図記号を確認したり、分かったことを書いたりする ○広告を見て発見したことをまとめる ○植物や動物の名前調べ ○豆電球・電池・磁石を使って理科工作作り ○都道府県名・県庁所在地名・場所の確認 ○地域の特色・特産調べ ○月や星の動きなどをノートにまとめる ○興味を持ったことを調べ、自分なりにノートにまとめる ○なわとびの練習をする |
|---|---|--|--|
|---|---|--|--|



- 毎日、音読する習慣をつけましょう。会話文は、気持ちをこめて読みましょう。
- 学校の漢字ドリル(スキル)などを活用して、漢字を繰り返して書く練習をしましょう。学校の宿題とは別に、家庭用の漢字練習ノートを用意するのもよいでしょう。
- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、わからない言葉や漢字を自分で調べる習慣をつけましょう。
- いろいろな本を選んで読みましょう。
(家族で読書タイムを決めるのもよいでしょう。)



- かけ算やわり算などの正しい計算手順が身につくよう、毎日練習しましょう。
- 筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
- 三角定規や分度器、コンパスなどが正しく使えるように繰り返し練習しましょう。

そのほか



- 読書をしたり、日記を書いたりする習慣をつけましょう。
- 音楽のリコーダーで習った曲の練習をしましょう。
- 「なぜだろう。」「どうしてだろう。」と思ったことは、辞書や図鑑などを使って自分で調べたり、家族に相談したりしましょう。

小学校5・6年生

学習時間のめやす
60分～90分

宿題40分～60分 自主学习20分～30分

目標 ⇒ 自主学習の学習習慣を身につけよう！

学校のリーダー
としても
活躍します



急に学習が
難しくない、
苦手意識も
大きくなる！



- 夜更かし、テレビ漬け、ゲーム漬けでは学習に集中できません。
- 得意な科目、好きな分野が見つかり、勉強好きになるきっかけにもなります。
- 競争心も芽生える時期です。良い友人関係の中で自分を高めていきましょう。また思春期に入り、心も体も変化します。自尊心を高められるよう、自分を好きになってください。
- 読書・新聞やテレビのニュース等を通じて、「登場人物の生き方」や「将来の夢」・「社会のできごと」に興味を持ち、家族で話し合う機会をつくろう。
- 委員会活動、キャンプ、修学旅行などで協調性や責任感が求められます。
- 5年生では小数のかけ算とわり算、それに分数の足し算、引き算、6年生では分数の通分、約分に加えて分数のかけ算、わり算も学習します。
- コンピュータ、事典類、新聞などを使って進んで調べる学習が増えます。

Point 1 計画的な学習を ～学習時間を決めて～

- 放課後もだいたい忙しくなります。自分に合った計画を立てながら学習を進めましょう。
- 中学校の学習を意識して、宿題以外に授業の復習や予習を行う習慣を付けておくと、中学校に入ってから、学習習慣をつくるのに助かります。自主学习として行っていきましょう。

Point 2 4年生までの学習を見直して ～復習も大切に～

- 算数では小数や分数のかけ算とわり算を学びます。これまでの整数の計算や文章題などで計算の意味や仕組みが理解できていると、意欲的に学習に取り組むことができます。
- 国語の漢字でも、読み書きがしっかり身につけていると、抽象的な熟語の理解も容易になります。
- わからない問題については、下の学年にさかのぼって学習すると、分かることが多くあります。

Point 3 一つの活動でもよいから続けよう ～継続は力なり～

- 「計算は得意」「歴史が大好き」「調べ学習は根気よく取り組める」「漢字練習は好き」などのように得意な分野を見つけましょう。小さな自信が必ず大きなものになっていくはずですよ。

自主学習例

| <p>五年生 六年生</p> <p>学習時間 50分 ～ 1時間以上</p> | <p>国語</p> <p>○漢字練習 ○ローマ字練習 ○語句調べ ○日記・作文・詩 ○本・新聞・ニュース等から 自分の感想や考えを書く ○読書 ○今日の授業の復習・予習</p> | <p>算数</p> <p>○計算練習 (教科書・計算ドリルを繰返し使う) ○問題作り (式から文章問題を作る) ○今日の授業の復習・予習 ○授業中の友達の考えで 解いてみる</p> | <p>その他</p> <p>○農作物の産地調べ ○地名調べや地図の読み取り ○社会のグラフの読み取り ○歴史上の人物調べ ○学習に関する資料集め ○テスト問題の復習 ○教科書や資料・授業中の ノートを使って自分なりに テスト勉強をする ○学習のまとめ(感想も) ○家の周りをランニングする。</p> |
|--|--|--|---|
|--|--|--|---|



- 語句や漢字の意味は辞書やドリルを使って確認しましょう。
- 教科書の文章量も多くなります。黙読や音読であらすじをしっかりとつかみましょう。
- 説明文、物語、詩、作文など多くの作品に親しみましょう。



- よく間違える計算は手順や仕組みを確かめながら練習しておきましょう。
- 間違えた原因を早めに確認する習慣をつけましょう。
- わからないところは教科書やノートなどを見ながらあきらめずにがんばりましょう。
- 宿題がない時は、明日の学習を確かめるような予習をするのもよいでしょう。



- 学習プリント類はきちんと整理をしましょう。
- 地図帳、白地図で国土を確認しながら産業の様子を学習しましょう。
- グラフ、表などに日頃から見慣れておきましょう。
- 歴史上の人物や出来事にふれた本に親しんでおきましょう。

そのほか

- 今日の宿題は何かを確かめる習慣をつけましょう。
- 机の上、学習用具の整理整頓をしましょう。
- 新聞記事やテレビニュースなどを家族で話題にして、社会に目を向けましょう。
- 家族の一員としての役割を持ち、それをしっかり果たしましょう。
- 日記を書くことは、自分の生活を振り返ったり書き慣れたりする意味で大事な学習です。

中学校 1・2年生



学習時間のめやす



1時間～2時間30分

目標 ⇒ 中学生の生活リズムと学習習慣を身につけよう！

まずは中学生の
**生活リズムに
慣れるのが大事！**

定期テストでは
**「テスト勉強計画表」
作りが不可欠！**

努力したことが
**すぐに結果に
出てこない事もある！**

■ 中学1・2年生って？ ■

- 「早寝・早起き」「しっかり朝食をとる」などの基本的な生活習慣を見直しましょう。
- 部活動なども始まり生活リズムが大きく変わります。まず、中学生の生活リズムに慣れることが大切です。
- 「思春期」を迎え、心と体の成長がアンバランスになりがちで、ちょっとしたことで不安・悩みを抱えやすくなります。
- 自我が芽生え、親や周囲の者に反抗的になったり、仲間や友達の影響を強く受けたりします。

□ 中学生になるとこんなことが大事 □

- 教科ごとに先生が替わる、いわゆる教科担任制になります。
- 学習内容が小学校に比べ深まり、量も多くなります。
- 宿題が、出る・出ないにかかわらず、自分で計画的に学習を進める必要があります。自主学習を続けて行います。
- 定期テスト（中間や期末）があります。直前の学習だけでなく、日頃の積み重ねが大切です。
- テスト勉強計画をテスト2～3週間前より立て、計画的に進めましょう。また、計画表を必ず作成し、活用しましょう。

Point 1 生活リズムの中に家庭学習を ～最初が肝心～

- まずは習慣化が大切。中学生の生活リズムの中にも家庭学習は大切です。部活動などとの両立は慣れるまで大変ですが、時間を有効に使う事を心がけましょう。
- 1年生の時に生活リズムを確立し、学習習慣を身につけておくと、学年が上がるにつれて学習の量が増え、質が高まる学習でも理解できることが増えるでしょう。

Point 2 家庭学習の方法を工夫しよう ～我流を確立しよう～

- 家庭学習の内容は、予習復習を中心に行えばよいでしょう。どちらに重きを置くかは教科にもよるので担当の先生に聞きましょう。
- 授業があったその日のうちにノート整理や教科書・プリントを使つてのポイント整理などをしておくことが定期テスト時に非常に役立ちます。

Point 3 わからないときは ～聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥～

- わからないことが出てきたらできるだけ早く解決することです。友達や先生に相談するとよいでしょう。自信をもって問題を解いたり、テストで答えを導き出したりするためには、自分でしっかり理解できている事が大切です。

中学校 3 年生



学習時間のめやす



2時間～3時間以上

目標 ⇒ 将来を見据えた目標を持ち、努力を継続しよう！

あせって

**親にあたってしまう
こともあるよ！**

将来の

**具体的な目標
を持ち進もう！**

**あきらめることなく
一歩ずつ目標に
近づいて行こう！**

■ 中学3年生って？ ■

- 自分の進路を選択する時期となり節目の時です。気持ちが不安定になり、あせったり、苛立ったりしがちです。
- 自分だけでなく、家族も不安になりがちです。自分も家族も正しい進路情報を得ましょう。困ることがあったら、進路が変更したら、担任に相談しましょう。
- 将来を見据えた具体的な目標を持つことが、意欲の向上・学習への集中につながります。

□ 中学3年生になるとこんなことが大事 □

- 3年生の学習内容は、1・2年生からかけ離れて難しいわけではありませんが、今までの総復習をするための時間が必要になります。家庭学習が必然的に必要になります。
- 日頃の授業を大切に、基礎・基本を確実に身につけることが必要です。
- 学校では行事や部活動において中心的な立場となります。時間の使い方を工夫し、けじめをつけて、学習との両立をはかりましょう。

Point 1 日頃の積み重ねが力になる ～焦らず一歩一歩～

- 今までの家庭学習を継続・発展させ、着実に力をつけていきましょう。
- 起床から就寝までの生活スケジュールの見直しを行い、時間を有効に使いましょう。
- 予定通り学習を進めたら、家庭学習ノート等にチェックすることも自分への励ましになります。

Point 2 年間スケジュールを考えよう ～時期を考慮して～

- 3年生の1年間を見すえて、学習計画を立てましょう。3年生の生活は、変化のある一年です。年間のスケジュールを考えることで今自分のすべきことが明確になります。
- 長期の休み（夏休み・冬休み）は継続的に学習できる絶好の機会です。計画的に過ごしましょう。

Point 3 家族で話し合いましょう ～「やすらぎ」と「支え」を～

- 家族であっても話をしないとお互いの心の内はわからないものです。将来の希望等について、話し合いの時間を持ち、考えを共有しましょう。
- 気分が不安定で、苛立ったり反抗したりもしますが、家族の気遣いが大変うれしい時でもあります。じっくりと話を聞く時間を持ち、励まし続けましょう！



まず宿題→自主学習!!!

| 教科 | 自主学習内容 | 自主学習のやり方 |
|---|--|--|
|  | <p>○授業の復習を行い、教科書の音読をする！</p> <p>▲新出漢字の練習をする！</p> <p>□新聞や本を読む！</p> <p>□問題集を解く！</p> <p>★語句・ことわざを調べる！</p> | <p>○授業で学習した範囲をすらすら読めるまで、何度も声に出して読む。特に古典は重要。</p> <p>▲新出漢字を中心に、短文を作り練習します。</p> <p>□高校入試の問題は、今まで読んだことのある文章が出るわけではありません。初めて読む文章から大切な部分を探せるように、日頃から新聞や本を多く読み、要約したり感想を書いたりします。問題集にも挑戦します。</p> <p>★意味の分からないものは調べます。</p> |
|  | <p>1 ワークを活用する</p> <p>①要点をノートに書き写して、学習内容を復習する。</p> <p>②問題を繰り返して解く。</p> <p>2 教科書を音読する。</p> <p>3 新聞を読む。</p> <p>※1-①は、提出用ノートにやって提出。これは宿題となります。</p> | <p>1 ワークについて</p> <p>①提出は、原則として週一回。前もって連絡するので、それまでに計画的に取り組んでやり遂げる。</p> <p>②問題のページは、自分で何回やるか計画を立てて、テストまでに徹底的に解いておく。</p> <p>③教科書の太字の語句は、漢字で正しく書けるようにする。</p> <p>2 教科書の音読について</p> <p>①すらすら読めるようになるまで繰り返すと、内容がより一層わかります。</p> |
|  | <p>○授業の復習をする！</p> <p>▲授業で間違えた問題、わからなかった問題を解き直す！</p> <p>□似た問題や応用問題を問題集やプリントで繰り返し練習する！</p> <p>★答え合わせを必ずする!!!!</p> | <p>○授業中に学習したことをもう一度わかりやすくノートにまとめるなど、授業のポイントをつかむ。</p> <p>▲その日の授業で取り組んだ問題のうち、間違えた問題やわからなかった問題を中心に解き直す(正解した問題、わかっているものはやらない)。</p> <p>□問題集には授業で扱った問題に似た問題や応用問題がたくさんある。似ている問題を繰り返すことで、応用問題も解けるようになる。</p> <p>★合っているかどうか確認せよ！間違えた場合は、なぜ間違えたのか、どこで間違えたのか、しっかりと振り返ることが大切！</p> |
|  | <p>★問題集を解く！</p> <p>○授業の復習をする！</p> <p>▲実験・観察結果をもとにもう一度考える！</p> | <p>★問題を解いていく中で分かるところ、分からないところが出てくるので、特におすすめ！教科書で太字になっている用語は必ず覚え、計算問題などにも慣れ、自分の知識の確認をする。</p> <p>○その日に授業で学習したことを、別のノートにまとめたり、整理したりする。</p> <p>▲実験・観察から得た図やグラフなどの資料を見ながら、なぜそうなるのか考え、まとめる。</p> |
|  | <p>○授業の予習をする！</p> <p>▲授業の復習をする！</p> <p>□問題集を解く！</p> | <p>○新出語(句)を繰り返し読んだり書いたりし、発音・アクセント・意味を必ず覚える。</p> <p>▲授業で習った基本文法や基本文型を用いて自分に関係ある事柄を英文で言ったり、書いたりする。</p> <p>▲授業で学習した英文を必ず声に出して読む。暗記するくらい何度も読みましょう。</p> <p>□1週間の学習を振り返り、問題集などで自分の知識を確認する。間違えた問題は再度解く。</p> |

継続は力なり 未来を見据えて 努力 MAX!

